

教育長報告

- 1 令和7年第2回入間市議会定例会について
- 2 令和7年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会について
(5/30 長野市)
- 3 学校総合体育大会 入間市内予選 (6/13、14、16 市内各中学校等)

事業等報告（令和7年6月）

- | | |
|----------------------------------|---------|
| ① 主要行事予定について | (別紙資料1) |
| ② 令和6年度組織目標の評価及び令和7年度組織目標の設定について | (別紙資料2) |
| ③ 令和7年第2回入間市議会定例会について | (別紙資料3) |
| ④ 博物館学芸員実習生の受け入れについて | |

博物館では、毎年夏休み期間に「学芸員実習」を実施し、学芸員を志望する学生を受け入れています。今年度は8大学から11名の申し込みがあり、個別面接等により11名全員を受け入れることにしました。

実習期間は8月2日（土）から8月11日（月・祝）までの計10日間になります。

令和7年度 主要行事予定表 (7月～9月)

7月

月 日	曜 日	時 間	事 業 名	会 場	参 加 対 象	教育委員 出席依頼	担 当 課
7月4日	金	10:00～	埼玉県都市教育長協議会第1回定例協議会	本庄市民文化会館	教育長		教育総務課
7月7日	月	8:50～	学校指導訪問	武蔵中学校	教育長、教育委員	○	学校教育課
7月10日	木	8:50～	学校指導訪問	東金子中学校	教育長、教育委員	○	学校教育課
7月11日	金	8:50～	学校指導訪問	金子中学校	教育長、教育委員	○	学校教育課
7月14日	月	14:00～	第3回西部教育事務所管内教育長会議	滑川町	教育長		教育総務課
7月15日	火	13:00～	埼玉県市町村教育委員会教育委員研究協議会	埼玉会館	教育委員	○	教育総務課
7月16日～21日	水～月	9:30～17:00	入間書人展	博物館	一般		社会教育課
7月17日	木	16:30～	地域交流研修会	産業文化センターホール	教育長、教育委員	○	社会教育課
7月19日	土	14:00～14:30	子ども大学さやま・いるま入学式	東京家政大狭山校舎	教育長、小学4～6年生		社会教育課
7月24日	木	13:00～	総合教育会議	市庁舎 503会議室	教育長、教育委員、関係者	○	教育総務課
7月24日	木	15:00～	教育委員会定例会(7月)	市庁舎 503会議室	教育長、教育委員、関係者	○	教育総務課
7月25日	金	13:00～	西部地区人権教育実践報告会	飯能市民会館	教育長、関係者、管内の教育長		社会教育課
7月25日～27日	金～日	10:00～15:00	キッズ・アート・ギャラリー	博物館	幼児、小中学生		社会教育課

8月

月 日	曜 日	時 間	事 業 名	会 場	参 加 対 象	教育委員 出席依頼	担 当 課
8月1日～17日	一	9:00～17:00	アリットフェスタ企画展「戦争と入間の人々」	博物館	一般		博物館
8月18日	月	14:00～	第4回西部教育事務所管内教育長会議	川越市	教育長		教育総務課
8月20日	水	15:00～	入間市教育研究会	産業文化センター	教育長		学校教育課
8月28日	木	10:00～	教育委員会定例会(8月)	市庁舎 501会議室	教育長、教育委員、関係者	○	教育総務課
8月28日～31日	木～日	9:30～16:45	市美術展(絵画・彫刻)	博物館	一般		社会教育課
8月29日	金	9:30～	9月市議会定例会 開会	市庁舎 議場			議会事務局
8月30日	土	13:00～13:15	子ども音楽大学いるま入学式	武蔵野音大入間キャンパス	教育長、小学4～6年生		社会教育課

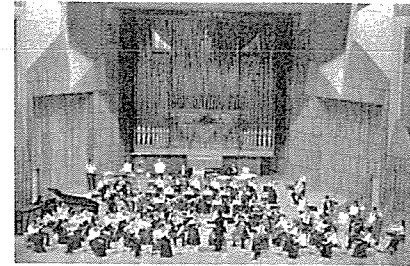
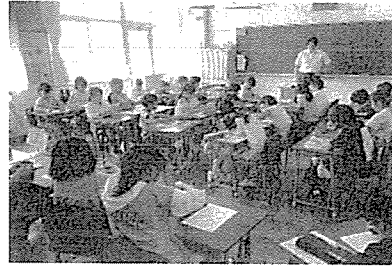
※印は、前月定例会の予定から変更が生じたものです。

令和7年度 主要行事予定表 (7月～9月)

9月

月 日	曜 日	時 間	事 業	名	会 場	参 加 対 象	教育委員 出席依頼	担 当 課
9月1日	月	8:50～	学校指導訪問		金子小学校	教育長、教育委員	○	学校教育課
9月2日～7日	火～日	9:30～16:45	市写真美術展		博物館	一般		社会教育課
9月4日	木	8:50～	学校指導訪問		高倉小学校	教育長、教育委員	○	学校教育課
9月7日	日	未定	いるま太鼓セッション2025		博物館	一般、出演団体		地域振興課
9月11日	木	8:50～	学校指導訪問		厩小学校	教育長、教育委員	○	学校教育課
9月14日	日	13:30～	市フラ連盟発表会		産業文化センター	一般		社会教育課
9月19日～21日	金～日	9:30～16:45	市工芸展		博物館	一般		社会教育課
9月26日	金	9:30～	9月市議会定例会 閉会		市庁舎 議場			議会事務局
9月27日・28日	土・日	9:30～16:30	秋を彩る創華展		博物館	一般		社会教育課
9月28日	日	12:00～	市民合唱祭2025		武蔵野音楽大学パッハザール	一般		社会教育課
9月29日	月	8:50～	学校指導訪問		西武小学校	教育長、教育委員	○	学校教育課
9月30日	火	15:00～	教育委員会定例会(9月)		市庁舎 大会議室	教育長、教育委員、関係者	○	教育総務課
9月～2月	土・日	9:30～12:30	こども三曲教室		未定	小学4～6年生		社会教育課

教育部 組織目標



教育部は、教育総務課（学校統合調整室）・学校教育課（教育センター）・学校給食課（学校給食センター）・社会教育課（公民館）・博物館・図書館で構成し、学校教育、社会教育に関する施策に取り組んでいます。

教育部の目標（令和6年度）	教 育 部 長
【部の基本方向】 教育行政の基本理念である「豊かな人間性の育成」に向け、「学びと実践があふれるまち」をテーマに、学校教育と社会教育が連携・融合して各施策の展開を図ります。	
【部の重点方針】 - 子どもたちの夢の実現に向けた学校教育の充実に努めます。 - 学校と地域との連携を推進し、子どもたちの生きる力の育成に努めます。 - 地域の課題を把握し、学びと実践による地域づくりに努めます。 - 学校教育と社会教育の連携・融合を進め、学校と地域が互いに高め合える環境を整備します。	
【課の目標（達成すべき目標）】 【教育総務課】  - 子どもたちが快適な学習環境で教育が受けられるよう、学校の再整備・再配置に向けた取組や学校施設の計画的な改修を進めます。 ・西武地区中学校の統合に向け、令和7年度からの統合・一時移転の準備、及び西武中学校建替工事にに向けた設計に取り組めます。 - 小・中学校 23 校の特別教室について、児童生徒の快適な生活空間の整備と避難所としての防災機能強化することを目的に、エアコン設置を計画的に行います。 - 小学校 3 校の校舎の便所（縦 1 系統）について、給排水管等を改修するとともに大便器の洋式化を図り、バリアフリートイレも新設し	【目標の達成度合】 - 両校生徒の交流事業を行い、統合に向けた機運の醸成を図るとともに、「統合だより」を発行し、制服、通学方法、通学路など、統合の進捗について、地域への周知に努めました。通学路の交通安全対策として、自転車交通安全教室や模擬登校、ポストコーンの設置などを行いました。西武中学校建替え工事の基本・実施設計、既存校舎等解体工事の実施設計に着手しました。 - 令和7年夏の一斉稼働を目指して、小・中学校 23 校の特別教室へエアコンを設置するため、実施設計から工事発注まで予定どおり実施しました。 - 小学校 3 校の校舎便所（縦 1 系統）を改修するとともに、大便器は全て洋式化、洗浄機能付き便座にしました。また、バリアフリートイレも

ます。

- ・小・中学校 22 校の校舎の教職員便所（男子）について、大便器の洋式化を図ります。

【学校教育課】



2 「心理的安全性」を基盤とした学校教育を推進し、学力の向上と定着を図るとともに、保幼小の滑らかな接続及び「教育と福祉と保健の連携」による子ども未来室事業を推進し、「豊かな人間性の育成」を目指します。

- ・子どもの発達段階に応じて、教師の指導中心の授業から子どもの学び中心の授業への転換を図り、児童生徒同士の聴き合う関係・考えを深め合う関係を高め、仲間の力を借りて自らの学びを深める「学び合い学習」を推進し、学力の向上と定着を図ります。
- ・GIGAスクール構想に基づき、タブレット端末等を活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実を図り、児童生徒の学力向上に努め、埼玉県及び全国学力学習状況調査において全体の正答率の向上を目指します。
- ・子ども未来室事業として、切れ目ない支援を目指し、児童発達支援センターとの連携、幼稚園・保育所（園）・小・中学校への巡回支援及び特別支援学級・通級指導教室における教育活動をさらに推進します。また、教育と福祉と保健の連携を強化し、子どもたちの社会参加・自立への支援を充実させます。

（巡回支援：年間 300 回以上）

- ・生徒指導・教育相談体制の整備、いじめ問題

整備し、車いす使用者、子ども連れなど多様な人が利用可能なものとなりました。

- ・教職員便所（男子）の大便器を洋式化するとともに、洗浄機能付き便座にし、教職員の職場環境の向上を図りました。

- ・学校指導訪問や授業研究会における指導等を通して「学び合い学習」の定着を図りました。アンケート結果では、約 90%の児童生徒が「学び合い学習が好き」と回答するなど、子どもの学び中心の授業への転換を図ることができました。

- ・児童生徒一人一台のタブレット端末の活用が日常的に図られ、個別最適な学びや協働的な学びを充実させることができました。また、各小中学校において、学習支援ソフトの活用に関する研修を行うことができました。令和 6 年度の埼玉県学力学習調査では、中学 2 年と 3 年の数学で、県の平均正答率を超える結果を残すことができました。また、全国学力学習状況調査では、中学 3 年生の数学で、国の平均正答率を超える結果を残すことができました。

- ・児童発達支援センターとの連携・協働をより効果的に行うことで、必要とする支援を充実させることができました。また、幼稚園・保育所（園）等への巡回支援及び特別支援学級・通級指導教室における教育活動の推進により、発達に特性のある子どもたちへの支援方法や環境調整の方法を多くの保育士・教員が共有し、実行することができました。さらに、福祉・保健との連携の継続により、多業種・多職種による支援体制が強化されました。学校の教員を含め、支援者同士の理解が深まり、子どもたち、保護者への支援が繋がり、のりしろのある支援体制の構築が図られました。（巡回支援 265 回）

- ・毎月の校長会議において、国・県における生徒

の対応や不登校の児童生徒に対する支援、適応指導教室のさらなる充実を図ります。

- ・地域とともにある学校づくりを目指し、全中学校区においてコミュニティ・スクールの充実を図ります。また、地域学校協働活動の活性化に向けて、地域学校協働活動推進員との連携を進めます。

【学校給食課】



3 安全・安心でおいしい学校給食を安定的に提供します。

- ・学校給食衛生管理基準に基づく給食調理を行い、安全で安心な給食を提供します。
- ・新たな学校給食センターにおいて、令和8年の2学期から運用開始ができるように、建設工事に着手します。
- ・ICTを効果的に活用し、学校給食における様々な取組等の情報や給食に関する子どもたちの声を発信できるよう取り組みます。

【社会教育課】



4 市民の多様な生涯学習活動をまちづくりに活かします。人権教育推進事業の充実を図り、市民の人権意識の向上を目指します。

公民館では地域の学習の場、交流の場、コミュニティの場を提供するとともに、地域づくりを支援します。

指導課題の現状・施策や、「2日連続して休んだら家庭訪問」等の具体的な方策を共有し、学校での生徒指導・教育相談体制の充実に向けた支援を行うことができました。また、不登校支援を行うNPO法人等との連携を通して、不登校児童生徒の居場所づくりに係る研究、実践を進めることができました。

- ・全中学校区にコミュニティ・スクールを設置し、その充実に努めました。令和6年度から配置された地域学校協働活動推進員が学校運営協議会に参加する体制を整え、学校の教育活動を地域に開き、また地域の学校への願いを教育活動に反映させる取り組みを通して、地域とともにある学校づくりを進めることができました。

- ・学校給食衛生管理基準に基づいた給食調理を行うことによって、衛生的にも安全で安心できるおいしい学校給食を安定的に提供しました。
- ・市内関係課と連携し、工事発注業務を遅滞なく進めることができ、9月議会の議決により、当初の予定どおり工事に着手することができました。
- ・中学校の献立表の市公式LINEでの配信及び、市内公立中学校に通う生徒のタブレットへのデータ配信について配信情報を拡大し、給食に関する情報を掲載している「給食だより」の配信も開始しました。ICTを活用した情報発信とすることで、今まで生徒にのみ向けて発信していた情報を、幅広い世代に知ってもらえるようになることができました。

・大学等との連携により子ども大学さやま・いるま、子ども音楽大学いるまを実施します。学習成果を地域に活かすために、生涯学習フェスティバル、まちの先生講座を実施します。(参加者数：3,000人)

・人権問題講演会、人権啓発講座など、人権教育推進事業を実施します。
(参加者数：400人)

・暮らしを豊かにし、地域を活性化する学びを提供します。
(主催・共催・後援事業数：300事業)

・地域学校協働活動を推進するため、地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員を委嘱し、活動を支援します。

・子ども大学さやま・いるまは29人、子ども音楽大学いるまは15人が参加しました。大学の特色を活かしたプログラムを体験し、学ぶ力や生きる力を育むことができました。生涯学習フェスティバルには1,960人の来場者があり、オンラインで視聴した延べ445人と併せて、市民の生涯学習への意欲向上と学習活動への参加促進が図られました。まちの先生講座は市民の協働による学習の場として26講座実施し、延べ584人の参加がありました。

・人権問題への正しい理解と認識を深める人権教育推進事業として、人権問題講演会(53人)、人権啓発講座(5回、延べ73人)、夏休み人権映画会(3回、延べ49人)、PTA家庭教育学級(1PTA、延べ24人)を実施し、合計199人の参加がありました。

・各公民館では、現代的課題を中心とした事業(健康づくり、子育て、安心安全な暮らし、高齢社会、環境問題、人権問題、貧困問題、情報格差解消、伝承文化の継承)を実施しました。(公民館主催・共催・後援事業数346事業、事業参加者52,042人。)

・地域学校協働活動推進員(コーディネーター)を中学校区ごとに委嘱し、地域交流研修会やコーディネーター情報交換会などを開催し、活動を支援しました。コーディネーターは、各中学校区で学期ごとに行われた学校運営協議会へ参加し、地域のボランティアによる学校の除草作業や中学校体育祭における地域と生徒が一体となった事業の実施など、地域と学校をつなぐ役割を担いました。

【博物館】



5 市民の「心のよりどころ」となる博物館の実現を図ります。

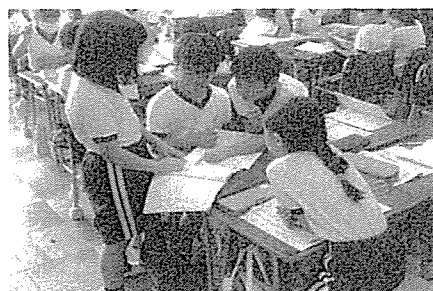
・開館30周年を迎える博物館では、5年ぶりの開催となるアリットフェスタ特別展をはじめ、文化庁認定の「食文化ミュージアム」として、指定管理者や地域、地元企業等と連携し、特色ある事業を実施することで賑わいを創出します。
また、オンライン授業の充実を図り、子ども

・「食文化ミュージアム」として「アリットお茶大学」や各種体験事業を通じて、狭山茶に親しむ事業を行うとともに、指定管理者や地元企業等と連携し、多世代が楽しめる事業を実施することで、博物館の賑わいにつなげました。また、オンライン授業の特色を研究し、博物館の資料を活用した学校授業の充実につなげました。

たちの学びの環境を整備します。 (利用者数 80,000 人) ・旧石川組製糸西洋館では、一般公開や魅力的なイベントを実施し、市民の文化財保護意識の醸成につなげます。また、撮影等の貸出を行うことで、市の知名度の向上と西洋館の維持運営に必要な財源の確保に努めます。 (入館者数：3,500 人) ・旧黒須銀行復元修理工事を計画的に進めます。また、新一万円札発行に併せた記念イベントなどを通して、地域での一体的な活用につながる方策を検討していきます。	(利用者数 91,639 人) ・旧石川組製糸西洋館では、一般公開のほか、特色を生かしたイベントを市民と共催で開催するなど、市民の文化財保護意識の醸成を図りました。また、撮影への貸出やPRにより、市や西洋館の魅力を発信するとともに、財源の確保につなげました。(入館者数：3,425 人) ・旧黒須銀行復元修理工事を計画的に進めるとともに、新一万円札発行記念イベントの実施や近隣施設との連携を通して、地域における活用の機運を高めました。また、財源の確保にも取り組みました。
【図書館】  6 くらしに役立ち学びを支える身近な図書館の実現を目指します。 ・図書館資料の充実を図り、魅力ある図書館づくりを推進します。 (資料蔵書数：587,000 点) (年間貸出点数：700,000 点) ・近隣市との図書館網の拡充を図ります。 (ダイア5市、青梅市相互利用者数：28,500 人)	・図書館資料については、市民のくらしや学びに役立つ資料を選書し購入するとともに、資料の除籍と、寄贈資料の受入れを進めるなど充実に努め、資料蔵書数は583,362点(昨年度583,599点)となりました。また、様々な利用促進事業を実施し利用拡大を図った結果、年間貸出点数は664,162点(昨年度692,186点)でした。 ・ダイア5市内(所沢市・飯能市・狭山市・日高市)市民の利用者数合計は27,822人(昨年度28,500人)、青梅市民利用者数は84人(昨年度68人)でした。

教育部

組織目標



教育部は、教育総務課（学校統合調整室）・学校教育課（教育センター）・学校給食課（学校給食センター）・社会教育課（公民館）・博物館・図書館で構成し、学校教育、社会教育に関する施策に取り組んでいます。

教育部の目標（令和7年度）	教育部長 浅見 泰志
【部の基本方向】 教育行政の基本理念である「豊かな人間性の育成」に向け、「学びと実践があふれるまち」をテーマに、学校教育と社会教育が連携・融合して各施策の展開を図ります。	
【部の重点方針】 1 子どもたちの夢の実現に向けた学校教育の充実に努めます。 2 学校と地域との連携・協働を推進し、子どもたちの生きる力の育成に努めます。 3 地域の課題を把握し、学びと実践による地域づくりに努めます。 4 学校教育と社会教育の連携、学校・行政・市民との協働に取り組み、学校と地域が互いに高めあえる環境を整備します。	
【課の目標（達成すべき目標）】 【教育総務課】 1 子どもたちが快適な学習環境で教育が受けられるよう、学校の再整備・再配置に向けた取組や学校施設等の計画的な整備及び改修を進めます。 ・西武中学校の建て替えに向け、新校舎建設工事の実施設計及び既存校舎の解体工事を行います。また、学校や関係部署等と連携し、子どもたちが安心して統合後の学校生活を送れるよう、通学路の安全対策などに引き続き取り組みます。 ・児童生徒の快適な生活空間の整備と避難所としての防災機能強化を目的に、小・中学校屋内運動場のエアコン整備を検討します。 ・校務支援システム及び教育ネットワーク更改業務に取り組みます。 【学校教育課】 2 「心理的安全性」を基盤とした学校教育を推	【目標の達成度合】

進し、学力の向上と定着を図るとともに、保幼小の滑らかな接続及び教育と福祉と保健の連携による「子ども未来室事業」を推進し、「豊かな人間性の育成」を目指します。

- ・子どもの発達段階に応じて、教師の指導中心の授業から子どもの学び中心の授業への転換を図り、児童生徒同士の聴き合う関係・考えを深め合う関係を高め、仲間の力を借りて自らの学びを深める「学び合い学習」を推進し、学力の向上と定着を図ります。
- ・GIGAスクール構想に基づき、タブレット端末等を活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実を図り、児童生徒の学力向上に努め、埼玉県及び全国学力学習状況調査において全体の正答率の向上を目指します。
- ・「子ども未来室事業」として、切れ目のない・のりしろのある支援を目指します。幼稚園・保育所（園）・小・中学校への巡回支援、幼児通級指導教室（茶おちゃお）における指導及び特別支援学級・通級指導教室における教育活動の更なる充実を図ります。また、子どもたちへのよりよい支援に向けて、児童発達支援センターや福祉・保健分野の専門職との連携・協働を推進します。
- ・生徒指導・教育相談体制の整備、いじめ問題の対応や不登校の児童生徒に対する支援、適応指導教室のさらなる充実を図ります。
- ・地域とともにある学校づくりを目指し、全中学校区においてコミュニティ・スクールの充実を図ります。また、地域学校協働活動の活性化に向けて、地域学校協働活動推進員との連携を進めます。

【学校給食課】



3 安心・安全でおいしい学校給食を安定的に提供します。

- ・学校給食衛生管理基準に基づく給食調理を行い、安心・安全な給食を提供します。
- ・学校給食センターの施設更新に向けて、進行中の建設工事を遅滞なく進めます。また、既存施設の解体設計に着手します。
- ・学校給食費に関係する事項（トリガー条項、給食費改定等）について検討します。
- ・小学校の給食調理室へのエアコン整備方法に

について、教育総務課と連携し他市事例などを踏まえ検討します。

【社会教育課】



- 4 市民の多様な生涯学習活動をまちづくりに活かします。人権教育推進事業の充実を図り、市民の人権意識の向上を目指します。

公民館では地域の学習の場、交流の場、コミュニティの場を提供するとともに、地域づくりを支援します。

- ・大学等との連携により子ども大学さやま・いるま、子ども音楽大学いるまを実施します。学習成果を地域に活かすために、生涯学習フェスティバル、まちの先生講座を実施します。

(参加者数：3,000人)

- ・人権問題講演会、人権啓発講座など、人権教育推進事業を実施します。

(参加者数：400人)

- ・暮らしを豊かにし、地域を活性化する学びを提供します。

(主催・共催・後援事業数：300事業)。

- ・地域学校協働活動を推進し、地域の活性化に資するため、地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員を委嘱し、活動を支援します。
- ・これからの社会教育及び生涯学習のあり方を示す計画の策定に向け、現状分析や審議会での意見聴取等を行い、素案を取りまとめます。

【博物館】



- 5 市民の「心のよりどころ」となる博物館の実現を図ります。

- ・指定管理者やレストラン、地域や地元企業等と連携し、「地域」と「お茶」をテーマにした様々な事業を実施することで、市民の学びの場の充実と、博物館の賑わいの創出につなげます。

(利用者数 80,000人)

- ・旧石川組製糸西洋館では、一般公開や魅力的なイベントを市民と協働して実施するとともに、撮影等の貸出を行うことで、西洋館の

魅力の発信と維持運営に必要な財源の確保に努めます。また、将来的な保存活用策について、検討を行います。

(入館者数：4,000人)

- ・旧黒須銀行復元修理工事を計画的に進めます。また、竣工後の運営に向けて、近隣や地域と連携した活用策を検討していきます。

【図書館】



6 くらしに役立ち学びを支える身近な図書館の実現を目指します。

- ・図書館資料の充実を図り、魅力ある図書館づくりを推進します。

(資料蔵書数：585,000点)

(年間貸出点数：700,000点)

- ・近隣市との図書館網の拡充を図ります。

(ダイヤ5市、青梅市相互利用者数：28,000人)

議案第17号

令和7年度 教育委員会の事務に関する点検・評価報告書（令和6年度対象）について

原案 別紙のとおり

令和7年6月26日提出

入間市教育委員会

教育長 中 田 一 平

提 案 理 由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項による令和7年度 教育委員会の事務に関する点検・評価報告書（令和6年度対象）を作成し、これを議会に提出するとともに、公表したいので、この案を提出するものである。

